

| | | | | | | | | | | | | |
|-----------|--|---|----|-----|----|---------|--|---|----|-------------------------------------|----|-----|
| 事業所名 | | こぼとっこくらぶ | | | | 支援プログラム | | 作成日 | | 2025年 | 1月 | 31日 |
| 法人(事業所)理念 | | 子どもたちとご家族に、私たちは寄り添い伴走します。どんな困難や障がいも突破できるよう、ともに羽ばたきましょう。ここに通ってよかったと笑って過ごせる、そんなくらぶがここにあります。 | | | | | | | | | | |
| 支援方針 | | <ul style="list-style-type: none"> ・つなげる、つながる。 ・自分のペースで得意を伸ばして学ぶ。 ・できないことに注目しない、どうしたらできるようになるのかを考える。 ・学び手は常に正しい。 | | | | | | | | | | |
| 営業時間 | | 9時 | 0分 | 17時 | 0分 | 送迎実施の有無 | | あり | なし | ※グループクラスのみ、近隣の園へ職員が徒歩による送迎は行っております。 | | |
| 支援内容 | | | | | | | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | <ol style="list-style-type: none"> 1.毎日の検温・手洗いを実施し、ひとりひとりの健康状態を把握していきます。 2.健康な心と体を育て、健康で安全な生活出来るように支援を行います。 支援例:衣服の着脱、トイレトレーニング、ボタンをはめる、手洗いうがいなど | | | | | | | | | | |
| | 運動・感覚 | <ol style="list-style-type: none"> 1.様々な活動内容を通して、微細運動・粗大運動の両方を支援できる環境を整えていきます。 支援例:季節の創作、しっぽ取りゲーム、サーキットトレーニング、はさみで切る、シール貼りなど | | | | | | | | | | |
| | 認知・行動 | <ol style="list-style-type: none"> 1.当日の日付・曜日・スケジュールを視覚でわかるように掲示し、概念の習得を図ります。 2.感覚や認知の活用 視覚、聴覚、触覚などの感覚を活用して、必要な情報を収集し、認知機能の発達を促します。 支援例:スケジュールボード(絵カード)の設置、切り替え時に音楽の使用、ビジョントレーニング、絵カードつり、変装ゲームなど | | | | | | | | | | |
| | 言語コミュニケーション | <ol style="list-style-type: none"> 1.簡単なあいさつや会話など、円滑なコミュニケーションを行う事ができるよう支援します。 2.言語の形成と活用— 具体的な事物や経験と言葉の意味を結び付け、体系的な言語の習得や自発的な発声を促進します。 3.受容言語と表出言語の支援— 話し言葉や文字・記号などを用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりする能力を支援します。 4.人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得— 個々に合わせた状況での相互作用を通じて、共同注意などのコミュニケーション能力の向上を支援します。 5.指差し、身振り、サイン等を活用— 指差しや身振り、サインなどを活用して、環境の理解や意思の伝達を支援します。 6.読み書き能力の向上のための支援— 障害の特性に合わせた読み書き能力の向上を支援します。 7.コミュニケーション機器の活用— 文字や記号、絵カードなどのコミュニケーション手段を適切に活用し、環境の理解や意思の伝達を支援します。 8.手話、点字、音声、文字等のコミュニケーション手段の活用— 手話、点字、音声、文字などの多様なコミュニケーション手段を活用し、環境の理解や意思の伝達を支援します。 支援例:物や感情、体調、シンボル等の絵カードの使用、読み聞かせ、パネルシアター、こぼ集め、プレゼンテーションなど | | | | | | | | | | |
| 人間関係社会性 | <ol style="list-style-type: none"> 1.人遊びや協同遊びの活動を通し、自己理解・他者理解を養います。 2.アタッチメントの形成— 人との関係を築き、信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行います。 3.模倣行動の支援 遊びを通じて模倣行動を促し、社会性や対人関係の発達を支援します。 4.感覚運動遊びから象徴遊びへの支援 感覚運動や象徴遊びを通じて社会性の発達を支援します。 5.一人遊びから協同遊びへの支援 一人遊びから協同遊びへの移行を促し、社会性の発達を支援します。 6.自己の理解とコントロールのための支援 自己の行動や感情を理解し、コントロールできるよう支援します。 支援例:ごっこ遊び、お買い物競争、地域との交流、地域へのお出かけなど | | | | | | | | | | | |
| 家族支援 | お子さまの発達に関するご相談や、就園・就学に向けたご相談など随時実施しています。また、ご家族の方のご希望に応じて、主に行動分析学の観点から悩みごとなどへの助言や環境調整を行います。 | | | | | 移行支援 | | 園や就学先、関係施設との情報共有や助言など、ご家族の方のご希望に応じて連携を図りながらお子さまのサポートをさせていただきます。 | | | | |
| 地域支援・地域連携 | お子さまがお住まいの地域で、適切な支援を受けながら安心して生活できるよう、各関係機関の支援者の方との連携を図っています。 | | | | | 職員の質の向上 | | 児童福祉についての研修、行動分析学についての研修 発達障がいについての研修、虐待防止(身体的拘束廃止含む)についての研修 感染症対策についての研修、BCPIについての研修など | | | | |
| 主な行事等 | 季節のイベント(正月、節分、バレンタイン、ひなまつり、卒園、入園、お花見、子どもの日、母の日、父の日、七夕、夏祭り、お月見、敬老の日、ハロウィン、七五三、クリスマスなど) 保護者支援(親業スキルの向上、お悩み相談など) | | | | | | | | | | | |